

自分の命を運ぶように俳句を作ってきた 森澄雄

森澄雄（1919～）

1970年、句誌『杉』を創刊。1977年、『鯉素』で読売文学賞受賞。文化功労者。

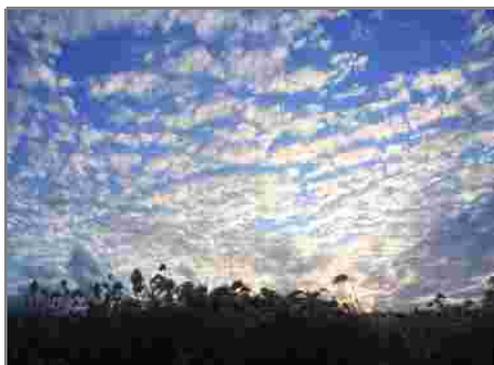


除夜の妻白鳥のごと湯浴みをり

億年の中の今生実南天



やすらかやどの花となく草の花



木林澄雄と現代俳句

公開講座

東京外国語大学・特色GP「教養日本力」高度化推進プログラム主催

時 2010年1月22日（金）

18:15～20:00

於 東京外国語大学・総合文化研究所

（研究講義棟422教室）

講師：上野一孝氏

本学非常勤講師、俳句結社『杉』元編集長。1975年より森澄雄に師事。著書に句集『萬里』（1997）、『李白』（2008年）、随想集『俳句の周辺』（2007年）、編著書に『森澄雄の107句』（2002年）がある。

どなたでもご参加いただけます。予約不要・入場無料。
お問い合わせは、特色GP「教養日本力」事務局（Tel：042-330-5273）まで。